

# 山麓もよう

交流の家周辺の体験情報をご紹介します！

## よし 【良農園】



(文：山田)

交流の家から車で30分の「良農園」。東京ドーム2.5個分の敷地で育てられる野菜は、年間100種類を超えます。そんな農園では、子どもたちの体験活動もサポートしています。種付け、草むしり、収穫。食卓に上がる前の野菜を見て触って、食べることができます。

「露地」で作る野菜は「ハウス栽培」と違い、強い日差しや風、寒さの中で育ちます。化学肥料を使わず、厳しい環境で育つ野菜は、味が濃く、栄養をたっぷりと含みます。「野菜作りは、子育てに通じる」と語る伊能さん（農園副代表）のお話魅力の1つです。

6・7月は枝豆、にんじん、トウモロコシが旬な時期。個人や家族、団体で、農業体験に出かけてみてはいかがでしょうか。

- 所要時間: 交流の家から車で30分
- TEL: 027-234-6022
- 住所: 群馬県前橋市田口町141
- 料金: 農業体験1,000円～ ※要予約
- 対象: 幼児から大人まで、最大100名程度。学校も受け入れ可能です。
- ※詳細は良農園へお問い合わせください。

## リレーcolumn 『まねること』 すたっぷの目

文: 新井 義之  
【あらい よしゆき】



私が小学校1年の頃、巨人軍の王選手が1本足打法で華麗にホームランを打っていた。体を動かすことの好きな私は、王選手の魅力にひかれ野球を始めることとなる。

箸も鉛筆も右利きなのだが、野球だけは当然左打ち左投げである。毎日のように放映される巨人戦を見ながら(今では考えられませんが)良いイメージを頭に叩き込みそれを何度も繰り返し練習した(もちろんビデオなんてありません)。

考えてみると私は、常に人のまねをしてきた。人との出会いの中で多くのことを学んできた。交流の家の職員は個性豊かでまねる事が沢山である。今年も新しい職員が加わり、自分の財産が増えようである。

いつも落ち着いて周りを見ながら指示を出してくれる新井さん。笑顔も素敵です。

# つぶやき田

## 【テーマ:最近、思うこと】

- Myチェーンソー、My刈払機を手に入れました。周りがプロ仕様の中、僕はこいつらと共に成長していきます。(落合)
- 4月からたくさんのお会いと、懐かしい再会がありました。これからも人との繋がりを大切にしたいです。(大濱)
- 「暑い赤城の夏」を、乗り越えられる「楽しみ」を見つけます。(効果やいかに?) (鈴木)
- そろそろ今年も見晴山の「つつじ」が見頃をむかえます。長男・次男を連れて、また見に行きたいなあ！(木暮)
- 新しく入った仲間の活躍が目立ってきました。毎年この繰り返しで、施設が生き返ります。(松崎)
- 山の樹々が芽吹くさわやかな風薫る季節。樹々の新しい生命と共に赤城へ新しい風を輝かせたい…(今井)
- 千葉から群馬に来て、早くも2ヶ月が経ちました。毎朝、道路を横断する毛虫を見て、楽しく出勤しています。(渡邊)
- 田んぼに水が入る季節。田んぼが好きなので毎年わくわくしつつ蛙の大量発生にそなえて心の準備をします。(手島)
- 「夏は来ぬ」は作詞家、佐佐木信綱34才の作品。明治の歌人の語彙力はすごいです。(杉浦)
- GWを利用してキャンプで2泊してきました。今の子は虫が苦手で困りますねえ(我が子を見ながら)。(原田)
- 新緑の季節となりヨモギの新芽を摘んだはいいものの、すりこぎでは歯が立たずフードプロセッサーを買うべきか悩んでいます。(森田)
- 日照時間が長くて、気候も良く、晴れていれば最高に気持ちよい季節です。でも台風情報が気になってくる季節でもあります。(織間)
- 木々の緑も一段と色濃くなり、皆さんは目標に向かってばく進んでいますか？私は日々、草に追われています。(佐藤)
- 遠くから眺め、近くで季節を感じ、実際に一歩一歩登ってみる赤城山、いろいろな赤城山を楽しみたいです。(田野崎)
- 今年度の抱負・資格マニアを目指します。(クライマー・ツリーイング・船舶・大型等アウトドアに関するもの) (阿左見)
- 担当の事業でお世話になった農園で半日農業体験。無農薬の野菜をそのままパクリ。おいしい！(山田)
- 初心者研修で、赤城山登山に今年も参加した。同じメンバーと一緒に登ることは2度とないんだよね。(新井)
- 「だんだんと緑に染まる赤城山」「何の粉？緑に染まる自家用車」「春が来て桜が散って夏がすぐそこ」三連発でした。(高瀬)
- 昨年より朝型生活を心がけてます。すっきりと目覚められるし、一日を有効に使えるのでオススメです。(高橋)
- はじめまして！4月に着任しました。赤城には7年ぶりの復帰です。以前の経験も活かしつつ頑張りたいです。(田中)
- 新人職員のいんにぼっちゃり食いしん坊キャラをもっていられそうです(汗)(T.T) (江原)
- 昨年よりは仕事に慣れてきたが、慌ただしさに流されず多くのことを身につけていきたいと思う。(根本)
- また野菜づくりの1年が始まった。リベンジでキャベツ作り頑張ります。今年はキュウリが大量だぞー。(黛)

## 風と太陽のくにからの通信誌

# カラゴロリ

6-7  
2015



「ヤマユリ」

山の中に咲き、少しの風でも揺り動くことからこの名が付けられたと言われている山百合。

夏に咲く百合の中で1番大きな花をつける山百合は、1年に1つつ花を増やし、長い間育った株はたくさんのお花を咲かせる。

白地に黄色い帯状の筋、えんじ色や紫色の斑点が特徴的だが、他の植物にはない、甘く濃厚な香りは思わず足を止め、見入ってしまう。美しく山百合を見にぜひお越しください。

## 風のおと

## 夏の思い出

歌のそれは尾瀬のミズバショウですが、今回は『夏休みの思い出』の話です。私が子どもの頃、海水浴や祖父、祖母の家に行くのは、お盆の特別行事でした。ですから日々の楽しみは、学校のプールと川遊びでした。

小学校の時は、プールに通い、中学校になると部活の帰りは川に寄って遊ぶ毎日でした。最近よく思い出すのは川遊びの方で、水中メガネとヤス(モリ)を持って、水底にいるカジカやウグイを突いたことが最高に楽しかった思い出です。

私と同年代の男性と話をすれば、少なからず川遊びの思い出は持っ

ています。

それが今後は激減していることが推測できます。遊べる川が減っているのに加え、事故があれば『入水禁止』の看板が立ち、学校でも指導をされます。法律では河川は「自由使用」の場所ですから、いわば自主規制によって子どもたちがこの楽しさを知らないまま親になってもいいのでしょうか。安全な遊び方を大人が教える機会までなくしてしまうと、川遊びも海水浴も絶滅危惧種になってしまいそうな危機感を持っています。いつまでも夏休みの思い出の真ん中であってほしいと願っています。

所長 杉浦俊之

次号は、  
8月1日発行予定!

「スタッフブログ」  
「Facebook」で  
当所の情報を更新中

体験の風を  
おこそう



国立赤城青少年交流の家 <http://akagi.niye.go.jp/>

TEL:027-289-7224 (9:00~18:00)

FAX:027-289-7226

あかぎ カラゴロリ

検索

〒371-0101 群馬県前橋市富士見町赤城山27

E-mail: akagi@niye.go.jp



# 今年も「地域になくはない施設」をめざしてチャレンジを続けていきます

平成27年度の国立赤城青少年交流の家は、いままで同様、「members first」を大切に、よりよい施設づくりをめざしてまいります。

## ●平成27年度の新たな取り組み

- ・赤城山エコツーリズム協議会に協力します
- ・困難を抱える青少年のための体験活動に取り組みます
- ・絹産業遺産についてのプログラム開発に取り組みます
- ・施設の利用改善にますます取り組みます

## ●平成27年度の取り組みイメージ

青少年活動の  
リージョナルセンターへ

関東甲信越地区を担当する国立施設として、公立施設を支援し、先進的な取り組みを進める施設として機能します。

ボランティアの養成  
活動に関わることによってボランティア自身の自己実現も図られるような「育ちの場」であるよう努力します。

よりよい研修支援  
利用者の方がよりよい成果をあげられるよう、支援を行います。

### 環境保全

赤城山南麓地域の「環境保全」に努め、人と自然が共存する持続可能な体験活動のあり方を提案していきます。

### 地域の団体・指導者との協働

地域の青少年教育団体や施設、指導者と協働し、新しい事業形態やプログラムを開発します。

## ●目指すスタッフ像

- ①明るく挨拶をします。
- ②まず第一に利用者のことを考えます。
- ③施設職員全員が指導者としての研鑽を怠りません。
- ④健康で、清潔であることを心がけます。



新しい年度が始まりました!!  
【平成27年度国立赤城青少年交流の家運営計画】より

## ●平成27年度の事業

主催 教育 事業	<p>①人材育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然体験指導者養成事業(NEALインストラクターおよびリーダー養成事業)11・12月実施。</li> <li>・教員免許状更新講習(3回)7・8・11月実施</li> <li>・ボランティア養成セミナー(2回)5・11月実施 ※11月はNEALリーダー養成事業と同時開催</li> <li>・リスクマネジメントセミナー 1月実施</li> <li>・施設職員研修会(新任研修、群青協施設職員研修、関東甲信越地区ブロック施設職員研修等)</li> </ul> <p>②困難な状況にある青少年の体験活動の推進</p> <p>③地域協働・広報</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・通学合宿(ふじみフレンドシップキャンプ)</li> <li>・赤城山エコツーリズム推進協議会の運営協力</li> <li>・あかぎ体験お届け隊</li> <li>・あかぎ自然体験フォーラム</li> <li>・秋のアウトドアフェスタ</li> <li>・風っ子ファーム</li> <li>・スポーツ交流デイ</li> <li>・科学実験教室(群馬大学工学部との協働)</li> <li>・子どもゆめ基金説明会</li> </ul> <p>④共生(ESD)</p> <p>※Education for Sustainable Development=持続可能な開発のための教育</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・森林守り隊</li> <li>・多文化共生推進事業</li> </ul> <p>⑤冒険(アドベンチャー)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・赤城やまなみチャレンジキャンプ 8月</li> <li>・サンサンかがやきキャンプ 7・9・11・1月実施</li> <li>・福島こどもカプロジェクトふみだす探検隊 「ぐんまアドベンチャーキャンプ」 12・1月実施</li> </ul> <p>⑥教材・事業開発</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・絹産業遺産群を題材にした体験プログラム(教材開発)</li> </ul>
	<p>研修 支援 事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導業務 利用者への指導、支援の充実</li> <li>・学校の体験活動充実のため、「学校プログラム支援」を10～11月に実施する</li> </ul>

## 今年度もどうぞご支援ご協力をお願いします。

(文：高瀬)

下記の事業の詳細はこちらまでお問合せください⇒TEL027-289-7224(国立赤城青少年交流の家)

### これからの動き



【ふじみフレンドシップキャンプ】  
(通学合宿)

- 6/20(土)～21(日) 1泊2日
- 11/26(木)～29(日) 3泊4日

富士見町内の小学6年生を対象に中学校へ行く前の交流事業です。



【スポーツ交流デイ】

- 7/4(土)～5(日)

\*バスケ\*中学生対象

スポーツを通して、県内外の中学生が交流を深める事業です。



【サンサンかがやきキャンプ】

- 第1回 7/11(土)～12(日) 1泊2日
- 第2回 9/12(土)～13(日) 1泊2日
- 第3回 11/15(日) 日帰り
- 第4回 1/30(土)～31(日) 1泊2日

障がいのある・ない関係なく、みんなが主役のキャンプです。今年度は4回開催します！



【教員免許状更新講習】

- 7/29(水)～31(金) 2泊3日
- 8/7(金)～9(日) 2泊3日
- 11/21(土)～23(月) 2泊3日

自然環境や人間関係を構築するためのプログラムの体験とおとし、教員の資質向上を図ります。

今年度は3回行いますが、内容は同じです。

## プログラム 紹介!



## 【館内フォトラリー】

館内フォトラリーとは、館内及び一部周辺を撮影した写真を見て、その写真がマップ上のどこから撮影したものかを推察しながら歩きグループで得点を競います。

このプログラムは、今年の4月から活動プログラムになったものです。看板や施設内の特徴的な壁や照明などの一部分だけを撮影した写真をヒントに「宝探しゲーム」の感覚でどこにあるかを見つけていきます。グループごとに写真が示している場所がどこなのかを仲間と考えることでコミュニケーション力が高まります。

グループで活動することによりチームワークが養われ、さらに楽しさも実感できるので、館内のプログラムで迷ったらぜひ一度お試しください。

(文：根本)



国立赤城青少年交流の家で活躍する、非常勤講師やボランティアの方をご紹介します

## この人に会いたい

●国立赤城青少年交流の家 研修指導員(てん刻・七宝焼)  
齊藤 かほるさん



齊藤かほる先生は、「篆刻(てんこく)」と「七宝焼」の研修指導員として活躍されています。

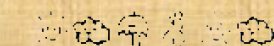
元々は洋画を描いていたことがきっかけで七宝焼に出会い、その透明な色の美しさに魅せられて30年。篆刻は古代文字の造形のおもしろさにひかれて始めて25年。

現在は、七宝に古代文字を入れた作品の制作や、個展、市民展の審査員、美術関係のボランティアなど幅広く活動されています。

ゆくゆくは自作品の海外発表や図録の作成も行いたいと話してくれました。

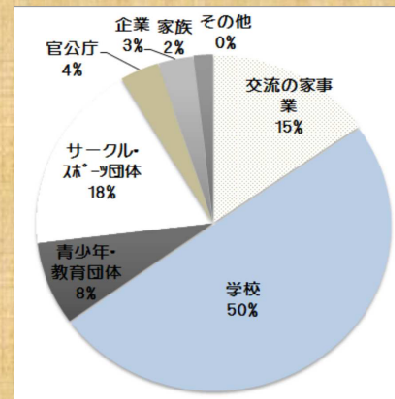
「手で作る 心で作る 自分をつくる」  
このことを創作活動を通して多くの方々に伝えたい。  
齊藤先生の強い思いを感じました。是非、先生のご指導のもと、篆刻・七宝焼を作りに来てみてください。(文：落合)

## 利用のようす(4～5月)



- 4月の利用者数  
…15,608人  
95団体
- 5月の利用者数  
…17,259人  
128団体

★利用団体  
種類別の割合⇒



## 施設周辺の植物

初夏の風が吹く頃、道路脇や芝生の広場などにヒョロリと立つ草が目に入ります。

冬の時期から寒さに耐えて葉を広げているこちらの植物は、スイバという多年草で、口にすると酸味があり、サラダやスープの具、ジャム等に加工して食べることが可能です。(但し、シュウ酸を多く含むため、一度に大量に摂取すると中毒の可能性があります)

西洋では野菜としても食べられるスイバ、皆様も身近な場所でお見かけの際にはその酸っぱさを味わってみてはいかがでしょうか。(文：森田)



## 野外活動における リスクマネジメント

入門編 第9回

今回は虫刺されについて取り上げます。今年は、あたたかくなるのが早いのか、ハチなどが例年より早く動き出しています。先日、あたたかい陽気だったので高校生たちが街の感覚で、半袖、ハーフパンツで活動していました。夜、担当の先生が生徒を連れて事務室に現れました。腕や足首がぶつくりと腫れています。ブユ(ブヨ)の仕業です。

ブユは、朝や夕方、活動します。蚊などの虫よけ薬は全く効きません。最大の虫よけは、衣服で身体を覆うことです。暑い季節になるので、半袖にならざるを得ないにしても、長ズボン必ず履くように指導されることをおすすめします。

(文：高瀬)

